北海道浮魚ニュース

平成 17(2005)年度２号（通巻 No.191）
2005 年 5 月 2 日
北 海 道 立 水 産 試 験 場
ホームページ：http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/ukiuo/uki_index.htm

◎第１回日本海スルメイカ長期漁況予報発表される

今年の日本海スルメイカ長期漁況予報が発表されましたのでお知らせします。今回の予報は、漁期前半（５月～７月）の予報で、速報的な情報が中心です。

なおこの予報は、日本海側道府県水試も参画し、日本海区水産研究所がとりまとめを行いました。

今後の見通し（2005 年 5 月～7 月）
対象魚種：スルメイカ
対象海域：日本海
対象漁業：主にいか釣り漁業
対象魚群：主に秋季発生系群

（１）来遊量：近年平均より少なく、昨年と同水準
（２）漁期・漁場：前半は山陰以西の漁獲量が昨年を上回る
（３）魚体の大きさ：近年平均より小さく、昨年並

昨年秋に実施したスルメイカ幼生の分布調査結果では、幼生の分布密度は高水準を維持している近年の中でも高く、産卵親魚量は十分確保されていたと判断された（図１）。しかし、今年４月に実施した漁獲対象になる前のスルメイカ（主に外套長 2～10㎝）の分布密度は近年４年間の平均よりも低く（62%）、ほぼ昨年と同水準（94%）であった（図２）。特に沖合域の分布密度が低かった。魚体も冬季に生まれたと推定される小型個体が中心であった（図２、３）。

今回の予報は、日本海全体を対象としたものです。現在山陰以西でスルメイカが多く漁獲されていますが、対象のスルメイカは北海道には来遊しない、春～夏生まれです。

北海道の漁期当初（６月～７月）に来遊する、スルメイカ来遊量は予報通り、「**近年平均より少なく、昨年と同水準**」と考えられます。

今後のスルメイカの来遊状況に関しては、５月下旬から函館水試金星丸が、６月下旬から中央水試おやしお丸が調査を行います。その結果をお待ち下さい。

また、漁期後半については、第２回日本海スルメイカ長期漁況予報が７月に発表されます。情報については、随時浮魚ニュースでお知らせいたします。

（文責：中央水産試験場資源管理部，TEL:0135-23-8707，FAX:0135-23-8709）

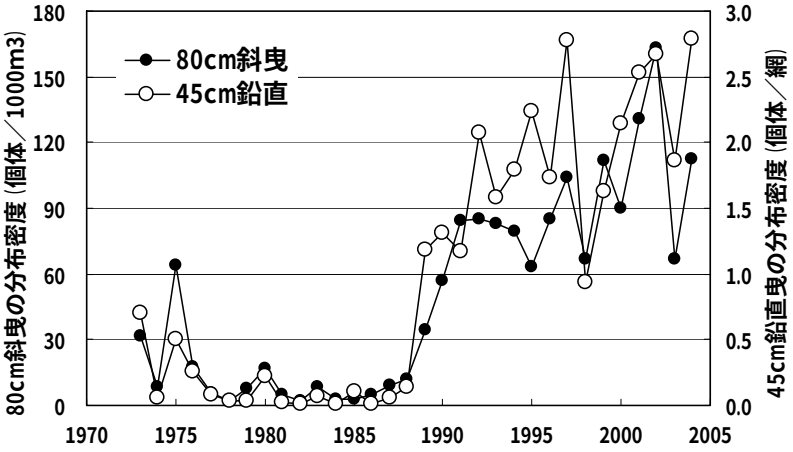

図１　口径 80cm ネット斜曳および口径 45cm ネット鉛直曳調査で採集されたスルメイカ幼生の平均分布密度

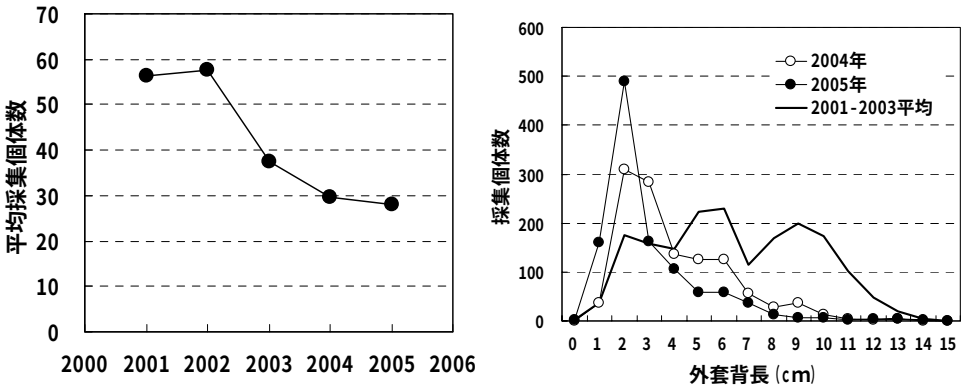

図２　新規加入量調査の平均採集個体数（左図）、外套背長別採集個体数（右図）

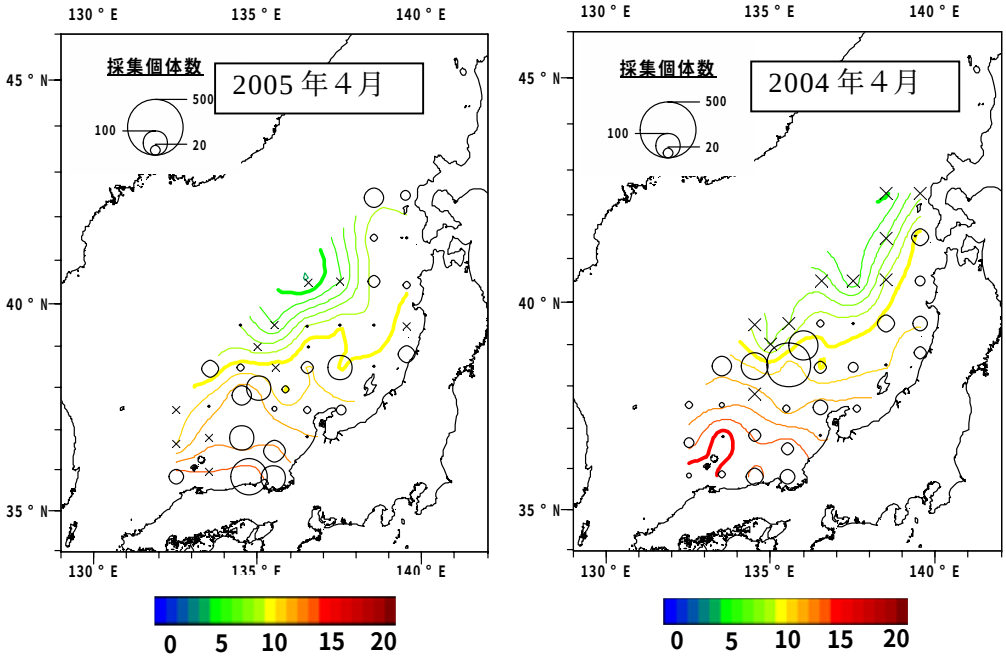

図３　新規加入量調査のスルメイカの採集個体数と表面水温分布